

カリキュラム・マップの趣旨

カリキュラム・マップは、ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)にむけ作成された教育課程を理解するための図です。学修成果の達成に向けてどのような授業科目が関連し、学年ごとに配置されているのかを示しています。

このカリキュラム・マップを有効的に活用し、主体的に個々の学修到達目標に向かって学習に取り組んでください。

人間生活学科 生活総合コース カリキュラム・マップ(教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

人間生活学科では、別に定める卒業要件を満たした学生に学士(家政学)の学位を授与し、以下の知識、能力、態度が身につけていることを保証する。

DP1 衣・食・住・生活経営・消費・環境など広い生活領域と、衣・食に関する生活技術について、広範な専門的知識と技術を修得し、それらを活用できる。

DP2 基礎知識と専門的知識により、広い視野と総合的判断力をもって、生活をめぐる多様な課題を発見し、分析し、解決する能力を身につけている。

DP3 他者を尊重し、他者との協調関係を築き、社会形成者である市民としての社会的責任を果たすことができる。

DP4 学修、視察・研修、卒業研究などで修得した知識を総合的に活用して、今後のライフスタイルを構想し、その実現方法を探求し、個人や家族、社会の生活の向上に貢献できる。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

教員(家庭)・社会福祉主事

| | | | |
|-----------|-----------|---------------|---------------------|
| DP1 知識・理解 | DP2 問題解決力 | DP3 倫理観・社会的責任 | DP4 総合的な学習経験・創造的思考力 |
|-----------|-----------|---------------|---------------------|



集会(コミュニケーション能力・アイデンティティ確立)

※白囲み科目は卒業必修科目

人間生活学科 福祉コース カリキュラム・マップ (教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

人間生活学科では、別に定める卒業要件を満たした学生に学士(家政学)の学位を授与し、以下の知識、能力、態度が身につけていることを保証する。

DP1 介護福祉および社会福祉の2領域において、介護福祉士あるいは社会福祉士として必要な広範な専門的知識と技術を修得し、それらを応用できる。

DP2 基礎知識と専門的知識により、高齢者や障害者(児)などを取り巻く社会環境を多面的かつ総合的に把握し、介護福祉および社会福祉をめぐる様々な問題に対処できる論理的思考力と問題解決へ導く能力を身につけている。

DP3 他者を援助し、他者と協調できる人格形成を志向し、福祉を通して、社会的責任を果たそうとする態度と倫理観を身につけている。

DP4 実習、地域交流活動、卒業研究などによる総合的経験と横断的思考力を活かして、地域の福祉をめぐる課題を解決する能力を身につけている。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

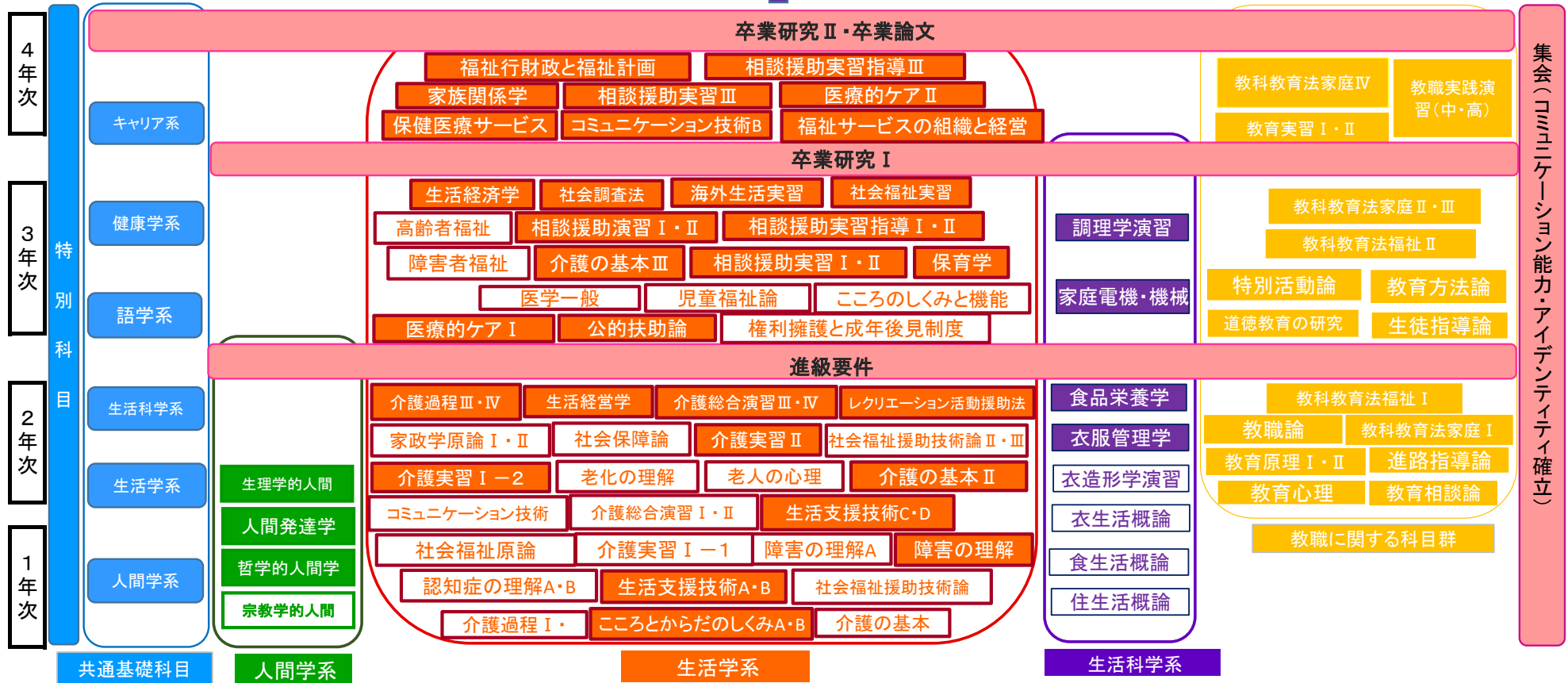
社会福祉士・介護福祉士・教員(家庭、福祉)

DP1 知識・理解

DP2 論理的思考力・問題解決力

DP3 倫理観・社会的責任

DP4 総合的な学習経験・創造的思考力



集会(コミュニケーション能力・アイデンティティ確立)

※白囲み科目は卒業必修科目

人間生活学科 建築デザインコース カリキュラム・マップ(教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

人間生活学科では、別に定める卒業要件を満たした学生に学士(家政学)の学位を授与し、以下の知識、能力、態度が身についていることを保証する。

DP1 建築分野において、一級建築士(実務2年)および二級建築士、その他の建築関係資格取得者として必要な広範な専門的知識と技術を修得し、それらを活用できる。

DP2 基礎知識と専門的知識により、住居や建築に関する問題を科学的根拠に基づいて論理的に思考し、解決できる。

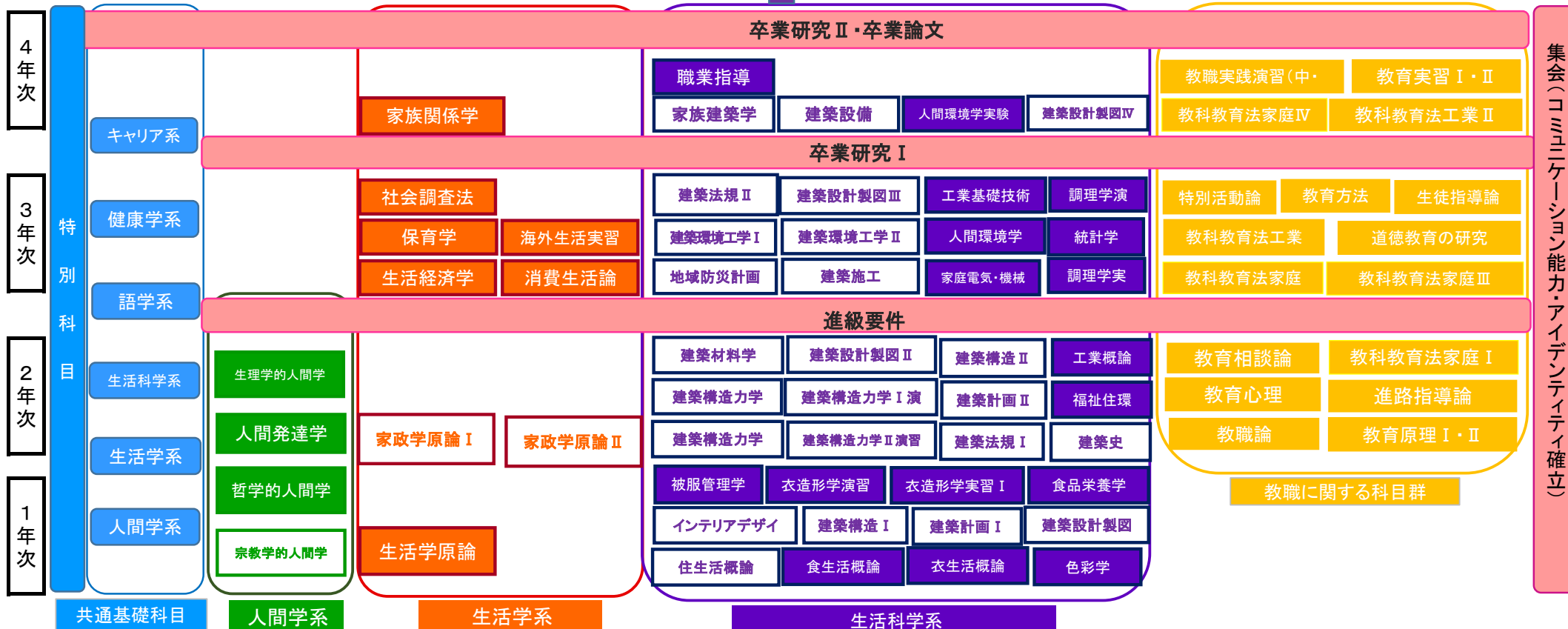
DP3 自然を尊重し、自然と共生可能な住環境の創造を志向し、人間と社会と自然の永続的存続という社会的責任を果たすことができる。

DP4 建築物の視察、建築現場の視察・研修、卒業研究などによる総合的経験を活かし、地域の建築が抱える課題を広い知性と新たな発想で解決できる能力を身につけている。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

建築士・商業施設士・インテリア設計士・福祉住環境コーディネーター・教員(家庭・工業)

| | | | |
|-----------|------------------|---------------|---------------------|
| DP1 知識・理解 | DP2 倫理的思考力・問題解決力 | DP3 倫理観・社会的責任 | DP4 総合的な学習経験・創造的思考力 |
|-----------|------------------|---------------|---------------------|



集会(コミュニケーション能力・アイデンティティ確立)

※白囲み科目は卒業必修科目

食物栄養学科 カリキュラム・マップ (教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

本学科所定の単位を修得し、以下の知識、能力等を身に付けた学生に対して卒業を認定し、学士(家政学)の学位を授与する。

DP1 管理栄養士を目指して、十分に研鑽を積んでいる。

DP2 栄養士として必要な知識・技能を有しており、それらを統合して自ら正しい食生活を体現して応用することが身に付いている。

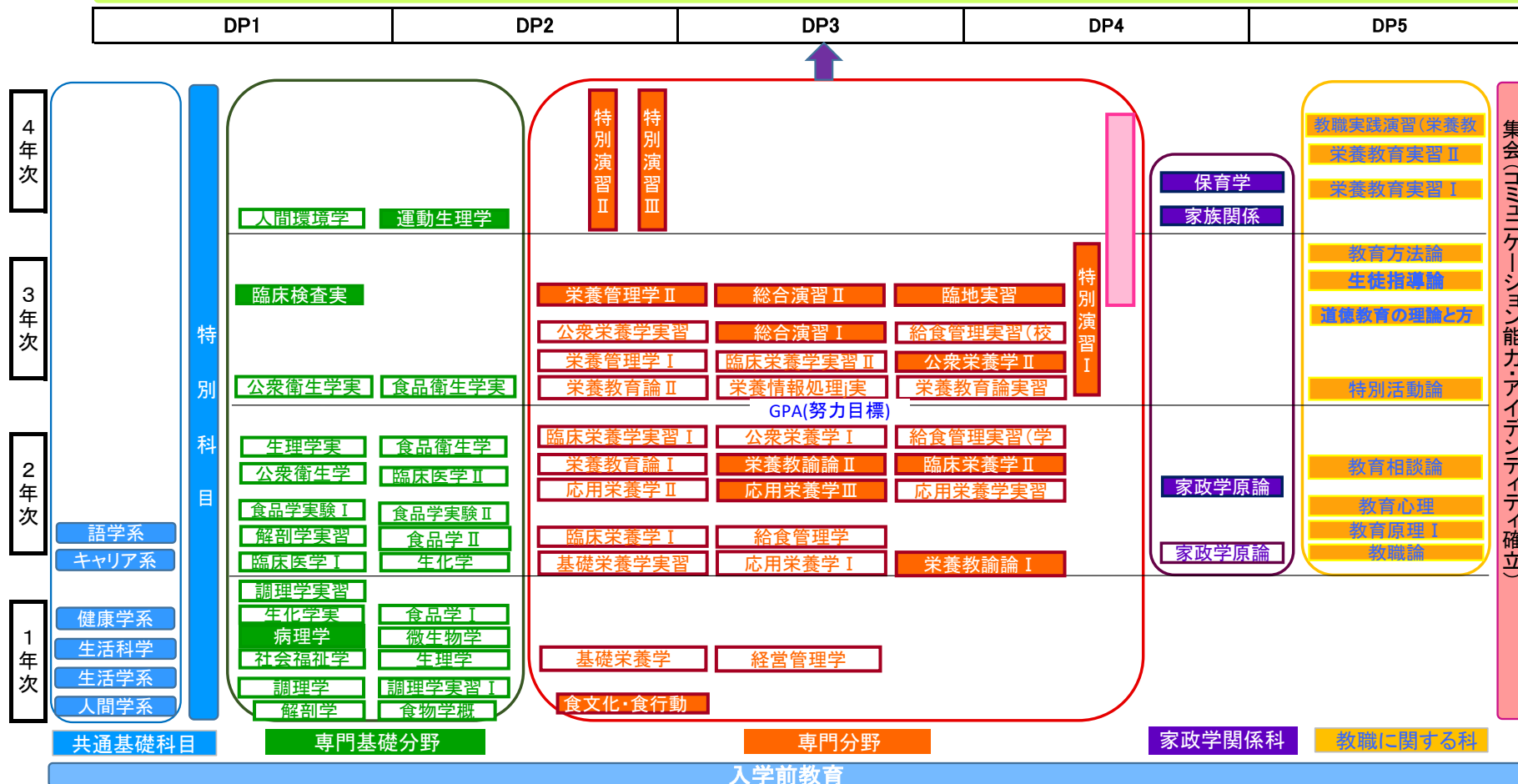
DP3 食、栄養や健康に関わる知識と技術を社会で応用し、人々の生活の向上に貢献できる能力を修得している。

DP4 食と健康の専門的職業人として、人々の健康と生活の向上に寄与するという意識と責任感を持っている。

DP5 食品衛生の専門家(食品衛生管理者・食品衛生監視員、いずれも任用資格)として、食品の製造加工の課程における衛生上の管理と指導ができる。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

管理栄養士・栄養士・食品衛生管理者・食品衛生監視員・栄養教諭



集会(コミュニケーション能力・アイデンティティ確立)

※白囲み科目は必修科目

健康栄養学科 カリキュラム・マップ(教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

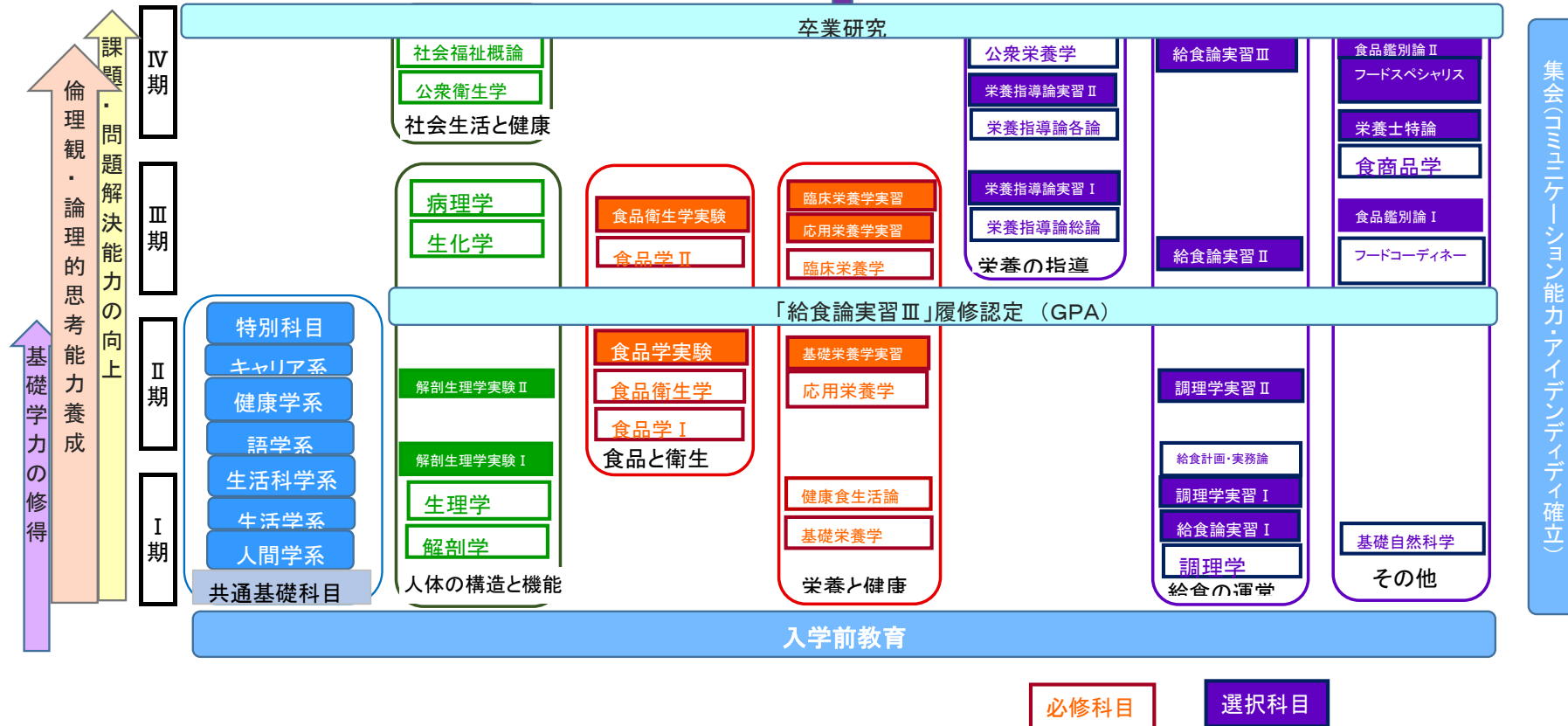
学科の目的に鑑み、本学所定の単位を修得し、次の成果が得られた学生に卒業を認定し、短期大学士(家政学)の学位を授与する。

- DP1 食と健康の関わりについて科学的に理解する能力を修得している。
- DP2 健康的な食生活を実践するための基本的技術が身についている。
- DP3 食と栄養の専門性を発揮して、サービスの精神に基づいて社会に貢献する素養が身についている。
- DP4 論理的思考と倫理観によって、食と栄養に関わる諸問題に対処する能力を修得している。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

栄養士・フードスペシャリスト

食と健康の関わりについて科学的に理解する能力を修得している 健康的な食生活を実践するための基本的技術が身についている 食と栄養の専門性を発揮して、サービスの精神に基づいて社会に貢献する素養が身についている 論理的思考と倫理観によって、食と栄養に関わる諸問題に対処する能力を修得している



音楽科 カリキュラム・マップ(教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

音楽科所定の単位を修得し、以下の専門的知識・技能等を身につけた学生に対して卒業を認定し、短期大学士(音楽)の学位を授与する。

DP1 幅広い教養や音楽についての知識を習得している。

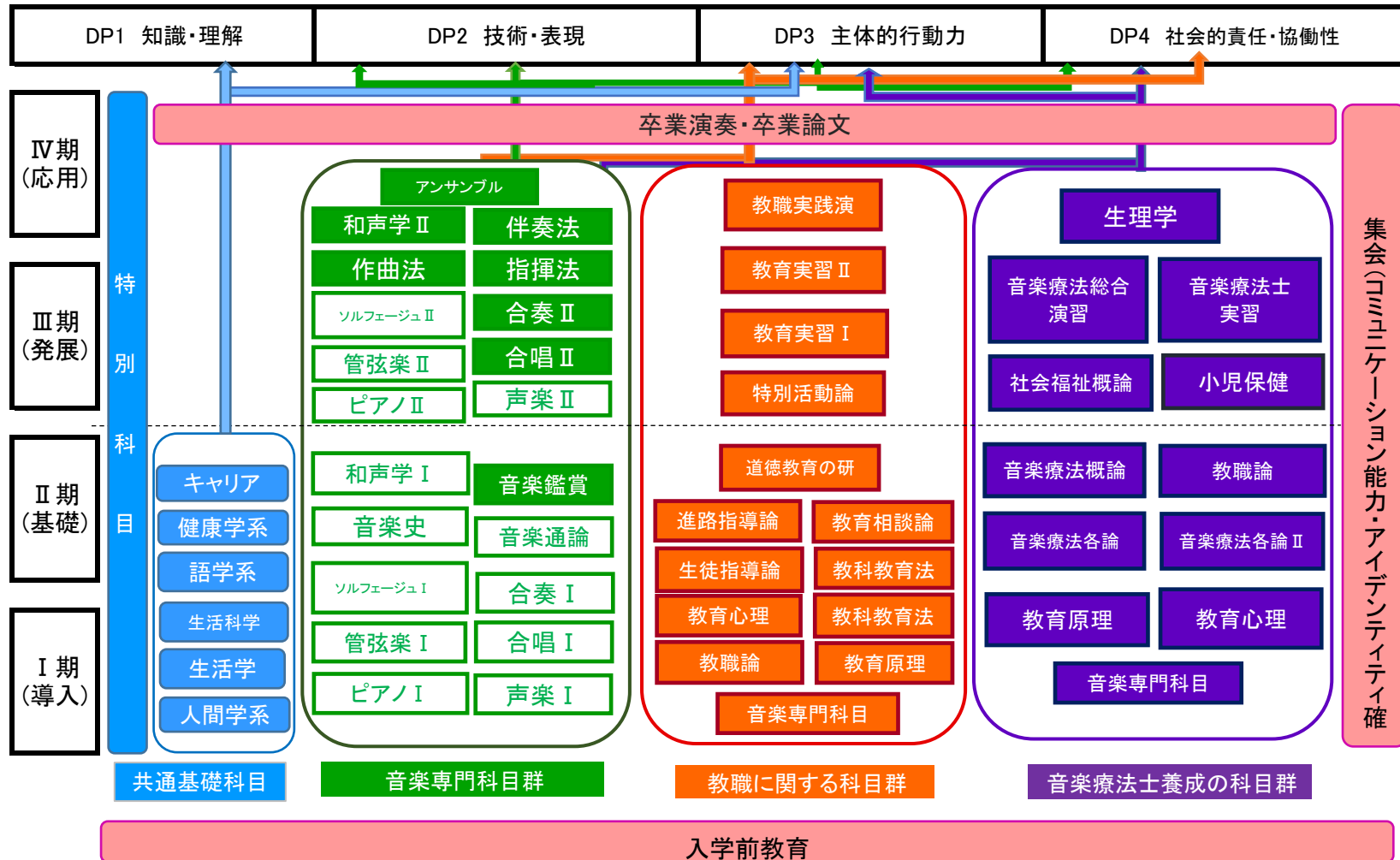
DP2 ピアノ、声楽、管弦楽器の専攻実技の基本的な演奏技術力と表現力を習得している。

DP3 様々な授業や学修体験を通して豊かな人間性と生涯にわたって主体的に学び続ける意欲を身につけている。

DP4 音楽に関する知識や技能を活かして社会に貢献する姿勢が身についている。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

演奏家・教員(音楽)・音楽療法士



集会(コミュニケーション能力・アイデンティティ確)

※音楽専門科目群 は、必修科目

地域創成学科 カリキュラム・マップ(教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマポリシー(DP) 学位授与方針

建学の精神に基づく教育目的に従い、以下に掲げる知識や資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に対し短期大学士(地域創成)の学位を授与する。

- DP1 身近な生活圏の歴史や文化を理解し、専門教育の実習を通して地域社会に貢献できる力を身につけている。
- DP2 柔軟で応用力のある創造的思考力を身につけている。
- DP3 地域社会において円滑に対応できるコミュニケーション力を活かしながら、現代社会の多様な課題を自らの力で発見し、それらを分析し解決する能力を身につけている。
- DP4 専門的知識を活用し、論理的に探究し、他者と協調し問題を解決していく主体的行動力を身につけている。

社会的・職業的自立

司書・学芸員補(任用資格)・情報処理士・社会福祉主事(任用資格)

| | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|----------------|--------------|--|---|---------|---|----------|---------------------------------|--------|------------------------------|--------------------|
| | | | | | | | | | | | | |
| 二年次 | IV期 | 芸術鑑賞講座・教養講座 II | 地域創成プロジェクト演習 | 家庭福祉論 | 介護概論 | 考古学実習 | ヨーロッパ史演習 美術史演習 宗教文化史演習 地域社会と食生活 油彩画III ビジュアルデザインII | 情報サービス演習 | 情報サービス論 図書館基礎特論 図書館情報資源特論 | 博物館実習 | 博物館経営論 博物館資料保存論 博物館展示論 | 卒業研究 (論文もしくは制作) |
| | III期 | | | インターンシップ | 女性文化史 情報処理III 情報倫理 情報メディア論 | | 日本史演習 地域社会と衣生活 油彩画II 版画表現 ビジュアルデザインI Webデザイン | | 図書館情報技術論 図書館制度・経営論 | | 博物館情報・メディア論 博物館教育論 | |
| 一年次 | II期 | 芸術鑑賞講座・教養講座 I | 地域創成ゼミナール | キャリアデザインII | デザイン論 情報処理II 情報概論 衣生活文化論 ビジネスマナー ビジネスホスピタリティ | 油彩画I | 考古学 美術史 宗教文化史 デッサンII 絵本とイラストレーション CG基礎II 写真基礎 水彩表現 | 創造表現 | 図書館サービス概論 図書館情報資源概論 | 博物館資料論 | | |
| | I期 | | | 情報処理I 総合英語コミュニケーション キャリアデザインI 生涯学習概論 家族社会学 生活芸術学入門 基礎学カトルレーニング | 図書館概論 博物館概論 色彩学 地域社会と食文化 ボランティア活動 | | 日本文化史 ヨーロッパ文化史 社会福祉概論 デッサンI 基礎デザイン CG基礎I 版画基礎 | | 児童サービス論 情報資源組織論 | | | |
| | | | | 地域創成学科 生活基礎科目 | 地域創成学科 共通専門科目 | 地域創成学基礎 | 地域創成学探究 | 図書館学関係 | 博物館学関係 | 卒業研究 | | |
| | | | | 基礎科目 | 専門科目 | | | | | | | |
| 入学前教育 | | | | | | | | | | | | |

※白囲み科目は必修科目

専攻科 カリキュラム・マップ(教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

以下にかかげる知識や資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、本学が評価を行い、「大学評価・学位授与機構」が審査し、学士(文学)の学位を授与する。

DP1 専門的科目において、専門的知識を修得している。

DP2 専門的科目において、研究能力が身についている。

DP3 研究課題を適切な歴史学のテーマに設定する知識が身についている。

DP4 研究課題の成果である論文を論理的、創造的にまとめる力が身についている。

DP5 歴史学を専攻する学士(文学)の学位を取得することで、社会教育の充実発展に寄与できる能力が身についている。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

学士(文学)

DP1 専門的知識

DP2 研究能力

DP3 課題探求能力

DP4 論理的・創造的

DP5 社会的責任

文化史総合演習(学習総まとめ科目)

二年

考古学演習※

※1科目4単位以上必修

中国文化史演習※

西洋文化史演習※

日本宗教史演習※

日本文化史演習※

西洋美術史演習※

日本生活史演習※

日本宗教の歴史と文化

日本古代の歴史と文化

西洋美学史

日本人の生活史

一年

アメリカの歴史と文化

中国の歴史と文化

ドイツの歴史と文化

日本の考古学

日本近代の歴史と文化

日本女性史

考古学特論

フランスの歴史と文化

文化史概論

日本の歴史と文化

日本近世の歴史と文化

専門的科目

※2科目以上選択

文化人類学※

家族関係学※

生活経済学※

住生活概論※

食生活概論※

衣生活文化論※

日米比較生活論※

哲学的人間論※

専門関連科目

※2科目以上選択

総合英語コミュニ

生活情報

社会調査法

情報処理演習

その他の科目

※白囲み科目は必修科目